

浅間神社

甲斐國一宮



交通のご案内

◆JR利用の場合

山梨市駅よりタクシーにて約10分
甲府駅よりバスにて（一宮経由勝沼行）約40分

◆高速バス利用の場合

新宿駅西口より中央高速バス約100分
一宮停留所下車徒歩10分

◆車利用の場合

勝沼インターより5分、「石」信号右折。
甲府方面より「浅間橋」左折。



あさ ま
甲斐国一宮 浅間神社
〒405-0056
山梨県笛吹市一宮町一ノ宮1684
電話0553-47-0900

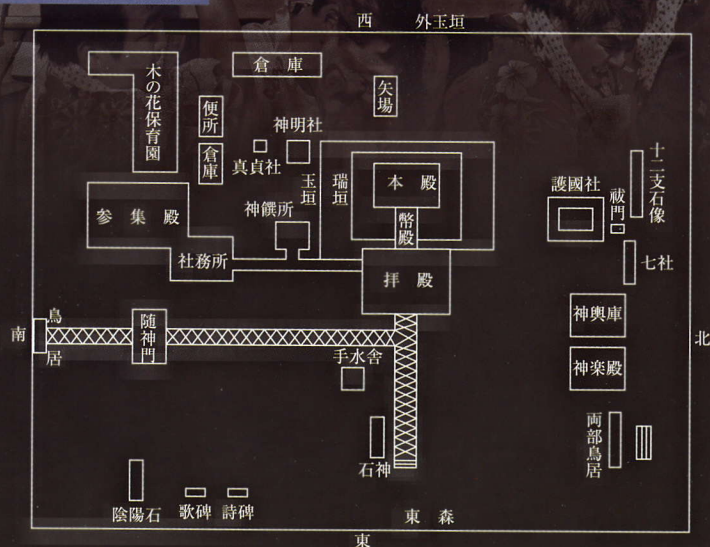


拜殿・笛吹市指定文化財
寛文12年（1673）5月12日再建

浅間神社祭事暦

歳旦祭	一月一日	梅折枝神事	陰曆四月第二亥日
元始祭	一月三日	御田植祭	六月十七日
追儺祭	二月節分日	夏越大祓	六月三十日
紀元祭	二月十一日	秋季大祭	十月十七日
祈年祭	二月十七日	七五三祝祭	十一月十五日
山宮神幸祭	三月	新嘗祭(新穀感謝祭)	十一月二十三日
講社祭	三月	師走大祓・除夜祭	十二月三十一日
例大祭	四月十五日	本社月次祭	毎月一日
大神幸祭	四月十五日	山宮神社月次祭	毎月十五日

境内配置図



御祭神・御由緒

第十一代垂仁天皇八年(約二千年前)正月始めて神山の麓にお祀りされた。今こそ山宮神社と称して摂社となっている。第五十六代清和天皇の貞観七(八六五)年十二月九日木花開耶姫命を現在の地にお遷ししてお祀りされている。甲斐国の二宮(いちのみや)であつて延喜の制に於ける名神大社である。明治四年五月十四日国幣中社に列格。本殿は入母屋向拝造銅板葺、拝殿は入母屋唐破風向拝造銅板葺である。境内は三、三九五坪(ヘクタール余)

御神徳

御祭神木花開耶姫命は大山祇神の御女でまた御名を吾田鹿葦津姫命(あだかあしつひめ)の(みこと)

の始祖大御母と仰ぎ奉る大神である。

又桜大刀自命(さくら)のおとしの(みこと)と申しあげ。天孫瓊々杵命の妃として皇室の基礎を築かれた功徳は永く日本女性の模範と仰がれている。

古来山火鎮護、農業、酒造の守護神、又婚姻、子授安産の靈徳神として崇敬をあつめている。





摂社

山宮神社

(永禄元年(二五五八)再建)

本社を距ること東南二十丁余(二キロ余)清流山宮川の水源神山の麓にあり、千古の老杉二本、神木として連立している。本殿は春日造、檜皮葺にしてその結構すこぶる壮麗である。

毎月十五日を恒例神祭日となす。三月十五日山宮神幸祭を行ってきたが現在では三月十五日前の日曜日。

当社は垂仁天皇の御代鎮祭された本宮であるが、貞観七年(八六五年)十二月三柱の内木花開耶姫命を里

宮に遷座さ

れたもので

大山祇神と

天孫瓊々杵命の二柱を御祭神としている。



夫婦杉(笛吹市指定文化財)



堀内幸枝 詩碑



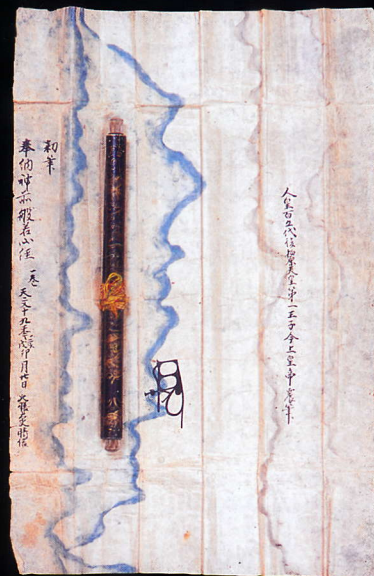
大野とくよ 歌碑



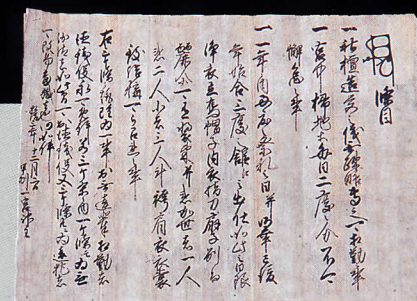
随神さん



延寶二年(1674年)
佐々木玄龍筆



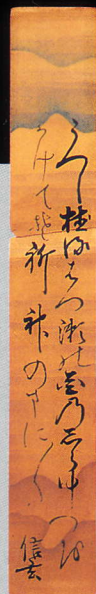
◆重要文化財
第○五代後奈良天皇御宸翰「般若心経」軸
武田大膳太夫晴信奉納自筆の包装を添ふ。



▲武田信玄公の條目



▲参拾六歌仙(拝殿内に掲額)
元禄七年(1694年)奉納



◆笛吹市指定有形文化財書跡
▲武田信玄公自詠の短冊
うつし植る初瀬の花のしらゆふを
かけてそ祈る神のまにく

▼大神幸祭宝曆絵巻



◆県指定文化財

- ▲国次の太刀
(刀身三尺一寸五分)
武田信玄公奉納
- ▼一徳斉助則の太刀
(刀身三尺四寸八分)

この太刀は、今の名古屋市郊外にあった山田村に居住した刀工群であり、濃州の関と関わり深かった山田関の國次の作によるものである。
長さ104cmの豪壮なものである。



◆県指定天然記念物

- ▼夫婦梅



◆重要文化財

- ▶摂社山宮神社
本殿 壺宇



▲山宮神社棟札
永禄元年(1558)59代 神主 重盛



▲かえる股



◀山宮神社
狛犬式体

特殊神事

大神幸祭（おおみゆきさい）

大神幸祭は、甲斐国第二の大祭と称され、社記によれば天長二年（八二五）以来旧四月第二の亥の日、甲斐市竜王三社神社に神幸の上、川除祭（水防祭）を執り行つて来たが、明治以後四月十五日と改め本社にて例大祭執行の後、同所及び甲府市上石田三社神社に神幸。（現在は竜王三社神社のみ）片途約六里（二四キロ）に及ぶ行程である。

梅折枝の神事

今境内端垣内に夫婦梅と称して陰陽二花相寄つて二顆を結実するご神木がある。後嗣なき者が祈願してこの梅をいただくと子宝を得ると云い伝えられ、遠近より授

与を請う者が多い。

古来毎年陰暦四月第二亥の日に神前に供え、子授祈願祭を執り行つてゐる。

本社境内



發育成就の御輿くぐり



雛昇（ひながき）



三社神社拝殿前

